

2023 年度日本国際経済法学会議事録

日時：2023 年 11 月 18 日（土）11:00～12:40

場所：同志社大学今出川キャンパス寧静館 4 階会議室

出席者

理事 16 名、監事 1 名、陪席 1 名

〔理事〕

須網隆夫、竹下啓介、関根豪政、渡辺昭成、瀬領真悟、福永有夏、濱田太郎、伊藤一頼、早川吉尚、土田和博、平覚、高杉直、宮岡邦生、阿部克則、林秀弥、増田史子

〔監事〕 梅島修（議決権なし）

〔陪席〕 土佐和生（議決権なし）

〔委任状〕 21 通

出席 16 名および委任状 21 通で、理事会としての成立を確認（規約第 16 条第 3 項により、理事の 3 分の 2 が定足数。当期の理事数 39* 名）。

* 泉水文雄理事から本年 4 月以降の公正取引委員会・委員へのご就任に伴い本学会の理事を退任したい旨お申し出があり、本件につき常務理事会にて承認済み。よって、当期本年度以降の理事会定足数は上記の通りに変更される。

議題

（審議事項）

1. 2022 年度理事会・総会議事録案について

2022 年度理事会・総会議事録案について承認され、確定された。

【別添資料 2022 年度理事会議事録（案）_2023】および

【別添資料 2022 年度総会議事録（案）_2023】

2. 職務理事の交代について

外務省経済局長職が鯨博行氏から片平聡氏に交代したことに伴い、職務理事が片平聡氏に交代することが承認された。

【別添資料 会員の異動一覧_2023】

3. 会員の異動－新入会・退会等

4 人の入会申込につき、審議した結果、総会の承認を求めべく提案することとされた。その他、13 名の退会等（逝去者 1 名を含む）について了承された。

〔入会者〕

渡井理佳子、石原満、榊田祥子、早川修（4 名）

〔退会者等〕

森平明彦、岩田伸人、広瀬訓、小原望、木棚照一、氷見野良三、根本洋一、河村明雄、江口順一、豊田哲也、又一義男、菊地元一、*松居祥二（13名） *逝去者

また、資格喪失者に関する資格喪失認定のあり方につき報告があり、本年度は警告時期との関係で会費未納4年目の11月末を期限に認定を行うこととされた。他方、業務委託後の会計・庶務実務の円滑化、警告時期との整合性確保のため、今後は基本的方向性として、会費未納4年目の11月に理事会による警告を発し、当該の年度末までに支払のない場合に資格喪失認定を行いたい旨、および次年度理事会までにこの趣旨で「会費滞納者の資格喪失手続に関する申し合わせ《役員会[監事参加理事会のことと推定される]承認ルール》」を改正したい旨が提起され、了承された。

4. 2024年度(次年度)研究大会について

理事長より、関東圏での開催が想定されるどころ、開催時期・場所等について、例えば今年度の11月・開催校方式には参加者を多数集める点等においてやや難があり、今後、諸般の事情に鑑みて、対面・Web・ハイブリッドの各方式（この場合実施主体のあり方も要検討課題）を含めて、どのような開催時期・場所等がより便宜かについて常務理事会等の場で検討していきたい旨説明があり、了承された。

【追記】本年度研究大会開催後、理事長から常務理事 ML に対し、高崎経済大（梅島先生）にてお引き受けいただけそうである旨メールで情報伝達があった。

5. 2022年度決算案について

2022年度決算案が異議なく承認され、総会の承認を求めるために提出されることとされた。なお、①研究大会が日本紛争解決センターでの開催であったため、大会開催援助費は支出がなかったが、会場費（実費）準備金からの支出が多くなったこと、②30周年記念事業に校正等のアルバイトによる支出があるところ、予算的に前年度見込んでいた執行の年度ズレに伴うものであること等の説明があった。

【別添資料 2022年決算（案）_監事確認済み】

6. 2024年度予算案について

2024年度予算案が異議なく承認され、総会の承認を求めるために提出されることとされた。なお、今回、上記議題4.に照らして、次年度、①研究大会がいかなる開催方式に依ったとしても会計上対応するため、2023年度予算と同様に「大会開催費」の費目で対応すること、②30周年記念事業による出版物につき、書評等を期待してペーパーでの献本を実施するため、相応の支出を見積もっていること、③次年度実施予定の理事改選関連に、予備費として相応の支出を見積もっていること、④業務委託初年度が未だ終了していないため、昨年度と同様に業務委託費を計上していること等の説明があった。

【別添資料 2024年度予算案_執行部確定版】

7. 30周年記念事業について

出版が完了したこと、献本についておよび販売促進方策等について報告があった。本件について総会に報告されることとされた。

8. 年報について

編集主任から、日本国際経済法学会年報 32 号の発刊について報告された。併せて、法律文化社から、①抜き刷りを PDF 版で対応したい旨、②年報について従来のペーパー版に加えて電子書籍版も販売したい旨の依頼につき報告され、了承された。本件について総会に報告されることとされた。

9. 国際交流について

国際交流主任から、本理事会直後開催予定の日韓シンポにつき報告があり、了承された。

10. その他

竹下会計副主任および土佐・関根庶務副主任から、業務委託の現状について報告があり、おおむね事務局業務の負担軽減に役立っていることが報告された。また、上記議題 4. に関わり、研究大会開催の将来像について若手中心にワーキンググループのようなものを設置して検討してはどうかと意見があり、前向きに検討していくことでも了承された。

以上

2023 年度日本国際経済法学会総会議事録

日時：2023 年 11 月 19 日（土）12:00～12:40

場所：同志社大学今出川キャンパス寧静館 2 階 N21

1. 定足数の確認

会場参加者 56 名および委任状 129 通で、総会としての成立を確認した（規約第 15 条第 3 項により、会員の 4 分の 1 が定足数。本年度総会時点で会員数 367 名）。

2. 決議事項

(1) 2022 年度総会議事録

2022 年度総会議事録が異議なく承認され、確定された。

(2) 2024 年度研究大会について

理事長から、関東圏での開催が想定される場所、開催時期・場所等について、例えば今年度の 11 月・開催校方式には参加者を多数集める点等においてやや障りがあり、諸般の事情に鑑みて今後常務理事会等の場で固めていきたい旨報告され、異議なく承認された。

(3) 2022 年度決算について

会計副主任から、2022 年度決算案について説明があり、規約第 20 条に基づき異議なく承認された。

【別添資料 2022 年決算（案）_監事確認済み】

(4) 2024 年度予算について

会計副主任から、2024 年度予算案について説明があった。なお、次年度、①研究大会がいかなる形態で実施されても、引き続き「大会開催費」の費目に対応すること、②30 周年記念事業による出版物につき、書評等を期待して献本を実施するための支出を予定していること、③次年度実施予定の理事改選関連に予備費としての支出を予定していること、④業務委託初年度の実情を踏まえて費目対応していること等の説明があり、規約 7 条及び 19 条に基づき異議なく承認された。

【別添資料 2024 年度予算案_執行部確定版】

(5) 入会員の承認について

庶務主任から、新入会員 4 名について説明があり、規約第 6 条に基づき異議なく承認された。また、13 名の退会者等（逝去者 1 名を含む）が報告された。また、会員に対して、業務委託後の対応願いとして、①入会申請に関して、支援機構から推薦者としての照会メー

ルが送信されることがあり得るので、適宜対応していただきたいこと、②学会 ML への登録について、メールアドレス変更後に必ず自分で上記 ML 登録変更の対応をしていただきたいこととのお願いがなされた。

3. 報告事項

(1) 日本国際経済法学会年報

編集主任から、日本国際経済法学会年報 32 号の発刊について報告された。

(2) 30 周年記念事業

理事長から、出版が完了したこと、献本についておよび販売促進方策等について報告された。

(3) 国際交流委員会

国際交流主任から、昨日の日韓シンポにつき報告された。

(4) 研究運営委員会

研究運営委員会主任から、現状につき報告された。

【追記】本年度研究大会開催後、理事長から常務理事 ML に対し、次年度研究大会において、午前中の分科会の一つに、分科会に準じる実務の問題意識をより強く反映させた企画を加えてはどうか、本件につき研運とは別に企画のワーキンググループを作り、そこでこの企画の可能性を考えてはどうかと提案があり、検討継続。